



野外活動時は

ダニに注意！

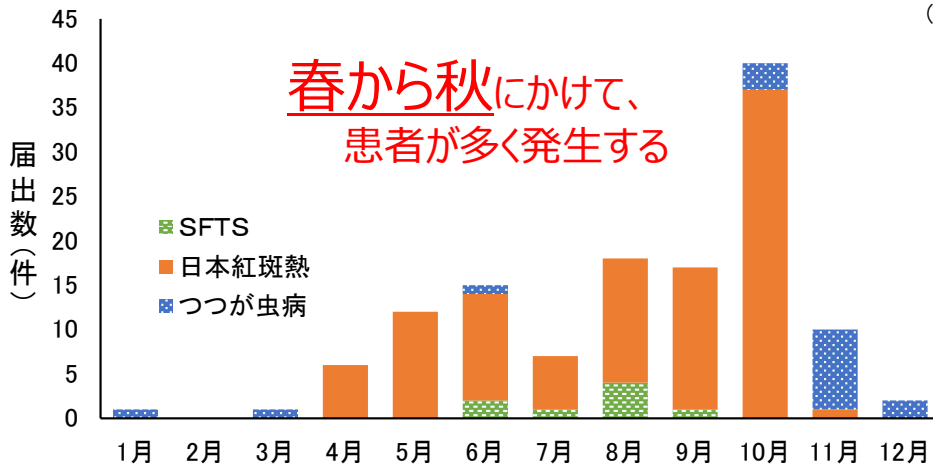
— 咬まらない対策が大切です —

病原体を持つマダニやツガムシに咬まれることにより、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、日本紅斑熱、つつが虫病等に感染することがあるため、野外活動時（畑仕事、草刈り、山菜等の採取等を行う際）には注意してください。

感染症名	潜伏期間 (日数)	症状		治療薬
		初期症状	特徴	
SFTS (マダニが媒介)	6~14	倦怠感 悪寒 急な発熱 (38~40℃)	<ul style="list-style-type: none"> ・発疹（日本紅斑熱、つつが虫病） 発熱の後にやや遅れて、体幹部や四肢に米粒大～小豆大の紅斑が出る（痛み・かゆみはない。日本紅斑熱の場合は、手のひらに見られることもある） ・刺し口 衣服に隠れた皮膚の柔らかい部分にある場合が多く、「かさぶた」が形成される（つつが虫の刺し口のかさぶたは、日本紅斑熱より大きくわかりやすい） ・消化器症状 食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢など ・その他の症状 頭痛、筋肉痛、リンパ節腫脹など 	主に 対症療法
日本紅斑熱 (マダニが媒介)	2~8			
つつが虫病 (ツガムシが媒介)	5~14			

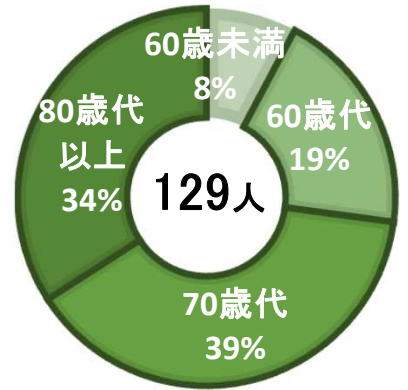
広島県内の発生状況

月別発生状況（R5年1月～12月）



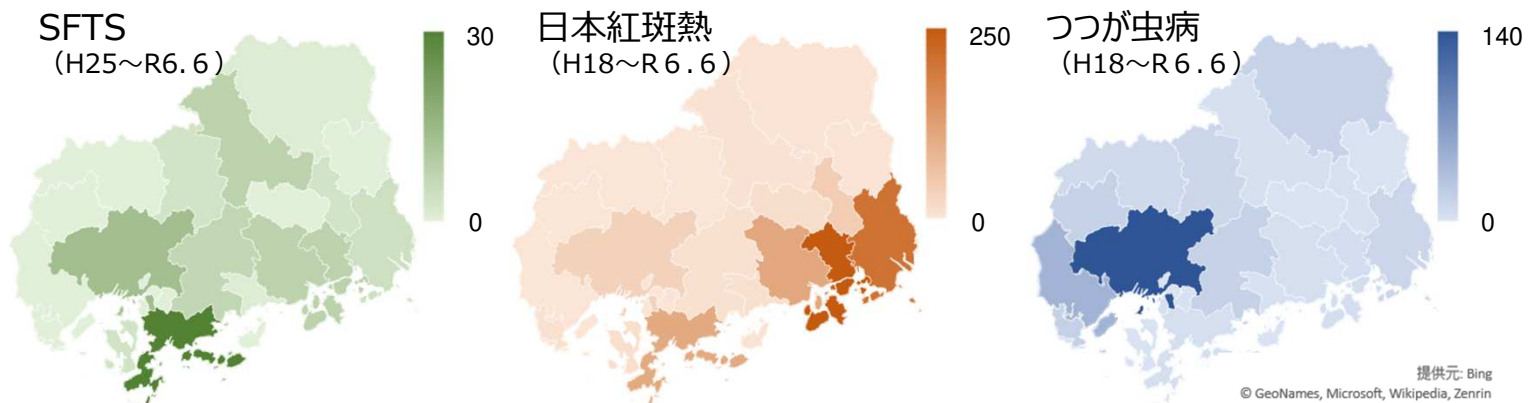
年齢別発生状況（R5年1月～12月）

(SFTS、日本紅斑熱、つつが虫病)



60歳以上の方が多い

推定感染地域別の累計届出数



マダニやツツガムシに咬まれないようにするには？

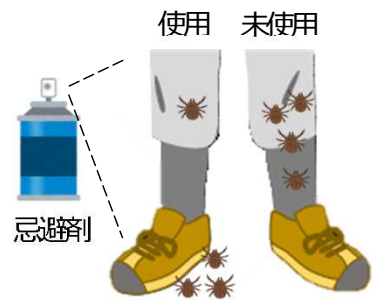
- マダニ等が服や髪の中に入り込めないように、服装に気を付けましょう。
- 野外活動後は、着用していた衣類を屋外ではたき、すぐに洗濯するなど長時間放置しないようにしましょう。
- 入浴やシャワー中に、ダニがついていないか確認しましょう。



- ☑ 長袖、長ズボン、帽子を着用しましょう
- ☑ 首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう
- ☑ シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう
- ☑ シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう
- ☑ ズボンの裾は靴下や長靴に入れてみましょう

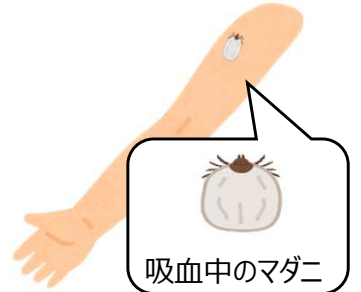
防虫スプレーは有効？

- マダニに対する忌避剤（ディート、イカリジン）が含まれる製品を使いましょう。
- 衣服の開口部、肌の露出部、腰から下等ダニが付きやすい部分に使用しましょう。
- 忌避剤を使用しても完全に防げるわけではないため、様々な防護手段と組み合わせてください。



マダニが吸血している！マダニやツツガムシに咬まれた！どうしたらいい？

- 吸血中のマダニを見つけたときは、皮膚科等の医療機関で処置をしてもらいましょう。（無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ってしまったり、マダニの体液を逆流させてしまったりする恐れがあります。）
- マダニ等に咬まれた後、2週間程度は体調の変化に注意してください。発熱などの症状が現れた場合は、すぐに医療機関（内科・皮膚科等）を受診してください。
- 受診の際は、「マダニ等に咬まれたこと」「いつ・どこで」「何をしていたか」などを医師に伝えてください。



マダニ等・ダニ媒介感染症に関する問合せ



広島県 健康福祉局 健康危機管理課 感染症・疾病管理センター（ひろしまCDC）
Hiroshima Prefectural Center for Disease Control and Prevention
TEL：082-513-3079（ダイヤルイン）
（参考資料）「マダニ対策、今できること」国立感染症研究所



詳しくお知りになりたい方はこちら



広島県 マダニ

検索

